

平成 30 年度「三重県の食に関する取組について」e-モニターアンケート実施報告書

「三重県の食に関する取組について」のアンケートの実施結果を、下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきました e-モニターの皆様には厚くお礼を申し上げます。

結果につきましては、今後の取組に活用させていただきます。

アンケート概要

- 1 実施期間 平成 30 年 11 月 5 日（月）から 11 月 19 日（月）まで
- 2 対象者数 1,145 人
- 3 回答数 768 人
- 4 回答率 67.1 %
- 5 回答者属性

【年齢階層別】

	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代
回答者数	4 人	45 人	150 人	222 人
構成比	0.5%	5.9%	19.5%	28.9%
	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上	
回答者数	162 人	145 人	40 人	
構成比	21.1%	18.9%	5.2%	

【地域別】

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	391 人	202 人	86 人	67 人	22 人
構成比	50.9%	26.3%	11.2%	8.7%	2.9%

北勢：四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

中南勢：津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

伊勢志摩：伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

伊賀：名張市、伊賀市

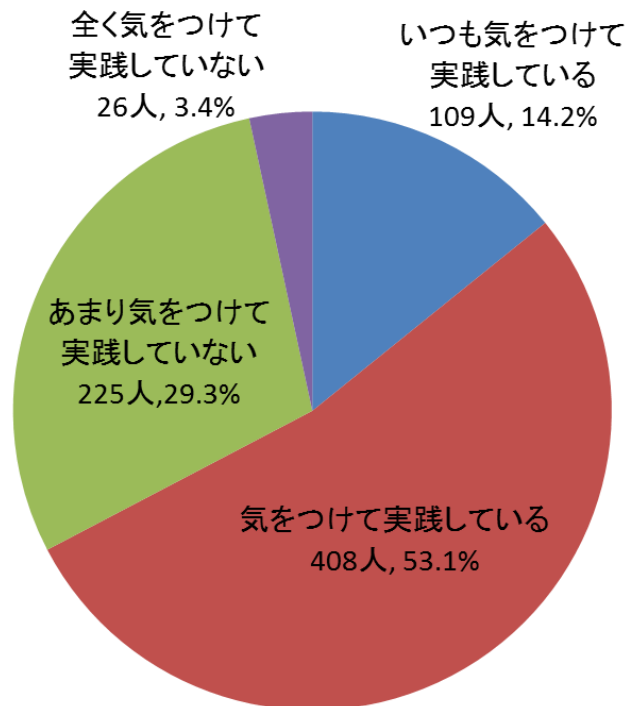
東紀州：尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

（注）グラフ、説明文中の割合は小数点第 2 位で四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合があります。

アンケート結果

Q1 健康を意識した食生活の実践について

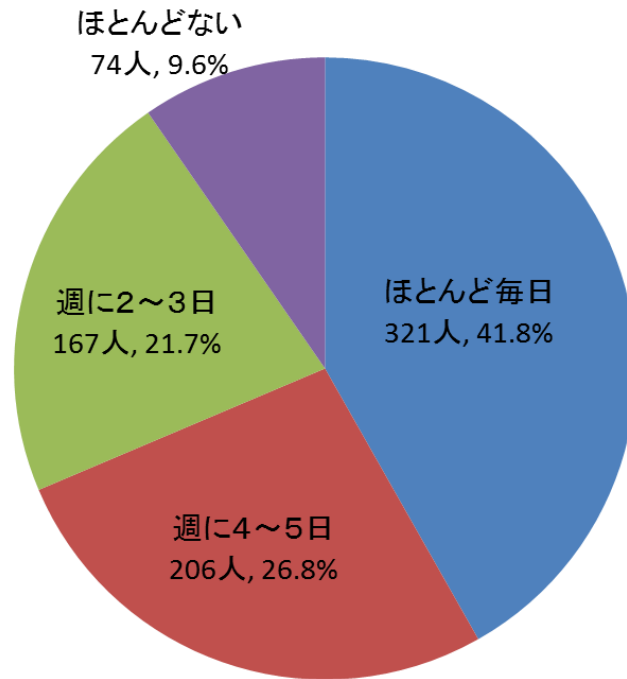
あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。あてはまるものを1つ選んでください。



健康を意識した食生活を実践しているかについて聞いた結果、「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」と答えた方が517人(67.3%)、「あまり気をつけて実践していない」「まったく気をつけて実践していない」と答えた方は251人(32.7%)でした。H29年度のe-モニターアンケートで「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」と回答された方は66.7%でしたので、ほぼ前年度と変わりませんでした。

Q2 バランスよく食べることについて

あなたは、主食（ごはん、パン、麺類などの料理）、主菜（魚介類、肉類、卵類、大豆・大豆製品を主材料にした料理）、副菜（野菜類、海藻類、きのこ類を主材料にした料理）の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのは、週に何日ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。



バランスよく食事するかどうかについて聞いた結果、主食、主菜、副菜の3つを組み合わせる食べることが1日に2回以上あるのが「ほとんど毎日」と回答された方が、321人（41.8%）、「週に4~5日」と回答された方が206人（26.8%）で、週の半分以上の日でバランスよく食事できているのは527人（68.6%）と全体の7割程度を占めていました。H29年度のe-モニターアンケートでは70.1%であり、ほぼ前年度と変わりませんでした。

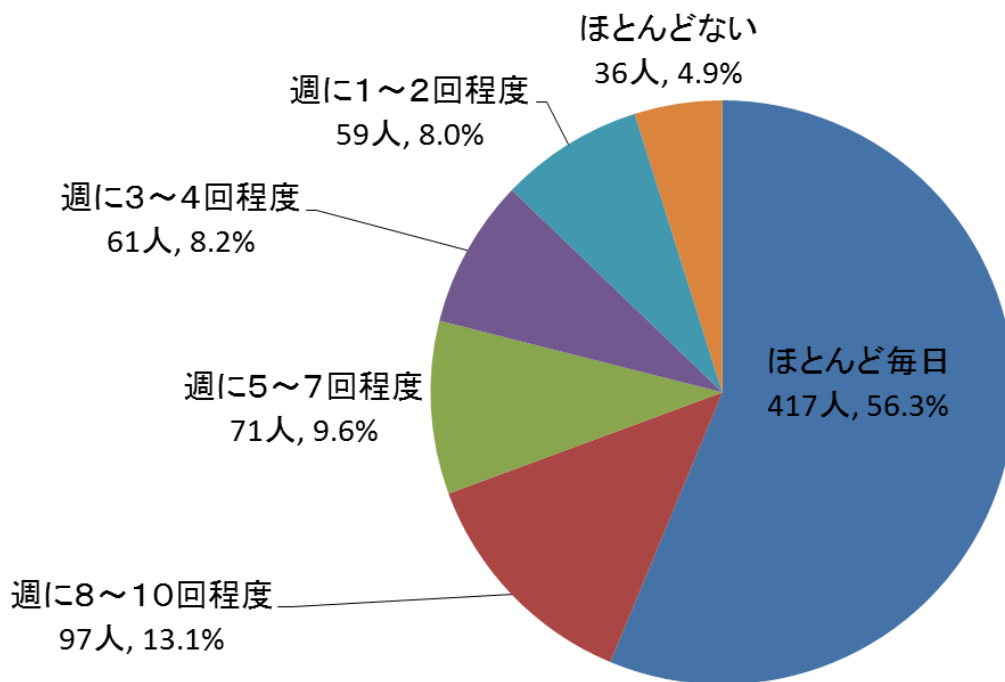
Q3 家族との食事について

同居家族がいらっしゃる方にお聞きします。

あなたは、家族と一緒に食事をする機会はどの程度ありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※家族数は問いません。

※朝食及び夕食の場合でお答えください。（1週間で総数14回になります。）

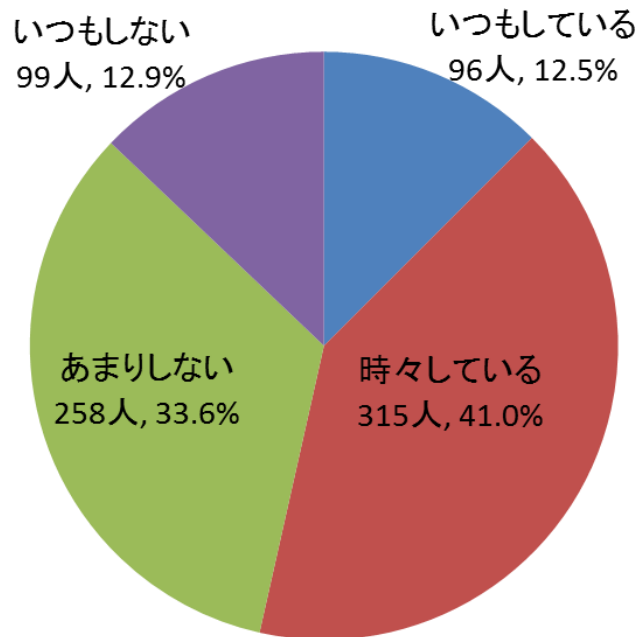


家族と一緒に食事をする機会について回答していただいた方741人のうち、「ほとんど毎日」と回答された方が、417人（56.3%）で、「週に8~10回程度」と回答された方97人（13.1%）を合わせると514人（69.4%）とほぼ7割を占めました。H29年度のe-モニターアンケートでは「ほとんど毎日」「週に8~10回程度」と回答された方は70.9%であり、家族と一緒に食事をする人の割合はほぼ横ばいです。

Q4 栄養成分表示について

栄養成分表示が平成27年4月から義務化（経過措置期間は平成32年3月31日まで）となりましたが、あなたは、ふだん食品を購入する時に、栄養成分の表示を参考にしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※栄養成分表示とは、食品などに含まれるエネルギーやたんぱく質、脂質、炭水化物、塩分などの栄養分量を、パッケージやメニューなどに表示したものを指します。



食品を購入する時に栄養成分表示を参考にしているかについて聞いた結果、「いつもしている」と回答された方が96人(12.5%)でした。「時々している」と回答された方315人(41.0%)を合わせると、411人(53.5%)と、半数以上の方が栄養成分表示を参考にしていました。H29年度のe-モニターアンケートでは、「いつもしている」「時々している」と回答された方は58.8%であり、食品を購入するときに、栄養成分表示を参考にする人の割合が減りました。

Q5 野菜摂取の状況について

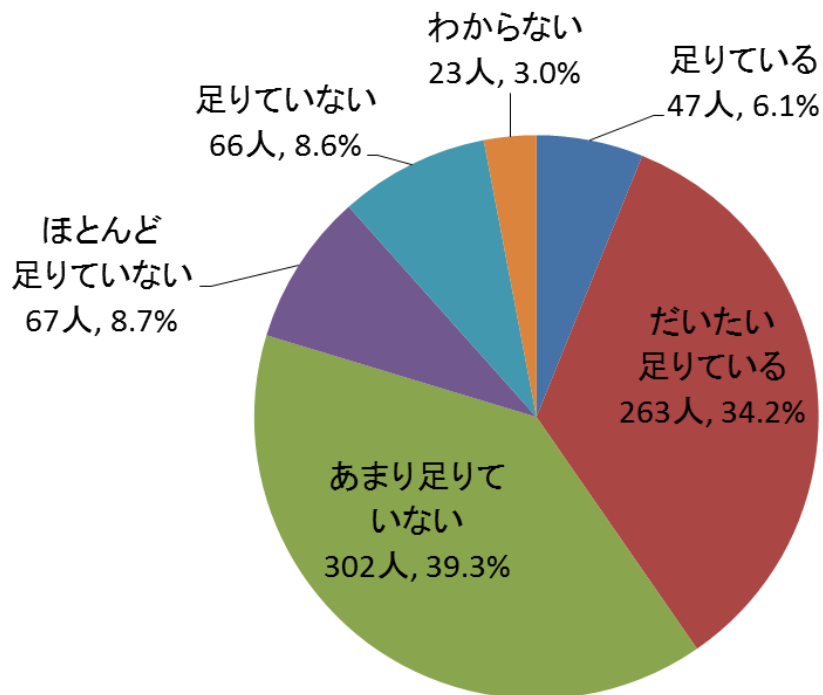
国の「健康日本21（第2次）」※では、1日当たりの野菜摂取の目標量は350g以上※ですが、あなたはふだんの食事で野菜の摂取量は足りていると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※「健康日本21（第2次）」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21.html

※野菜350gのめやす

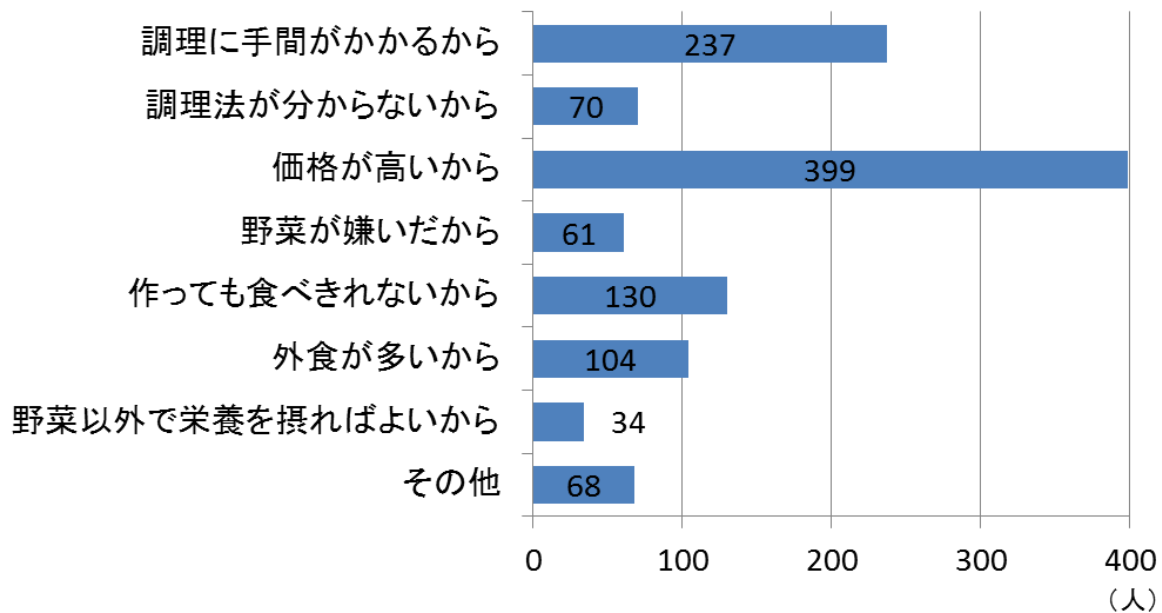
- ・生の野菜だと両手に山盛り1杯
- ・調理した野菜では、小鉢1皿を約70gとして5皿分程度



野菜の摂取状況について聞いた結果、「足りている」、「だいたい足りている」と回答された方は合計で310人（40.4%）、「あまり足りていない」、「ほとんど足りていない」、「足りていない」と回答された方は435人（56.6%）で、半数以上の方が野菜の摂取が足りていないと感じていました。

Q6 野菜不足の要因について

あなたにとって、ふだんの食事で野菜の摂取が足りなくなる理由として考えられることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

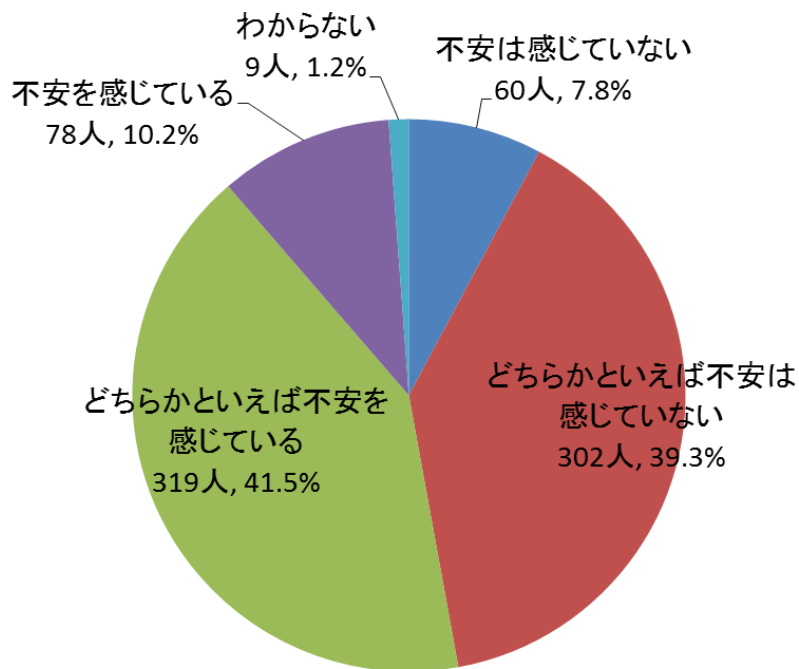


野菜不足の要因について聞いた結果、一番多かったのが「価格が高いから」と回答された方で399人（52.0%）、次いで「調理に手間がかかるから」と回答された方が237人（30.9%）、さらに「作っても食べきれないから」と回答された方が130人（16.9%）と続きました。

また、「その他」の回答としては、「食事をつくっていないのでわからない」、「家族が調理してくれるので意識していない」、「野菜を売っている店が遠いなど手に入りにくい」、「調理にかけられる時間がない」、「野菜の摂取は足りている」といった意見が多くありました。

Q7 食品の安全性について

あなたは、食品の安全性について、ふだん不安を感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

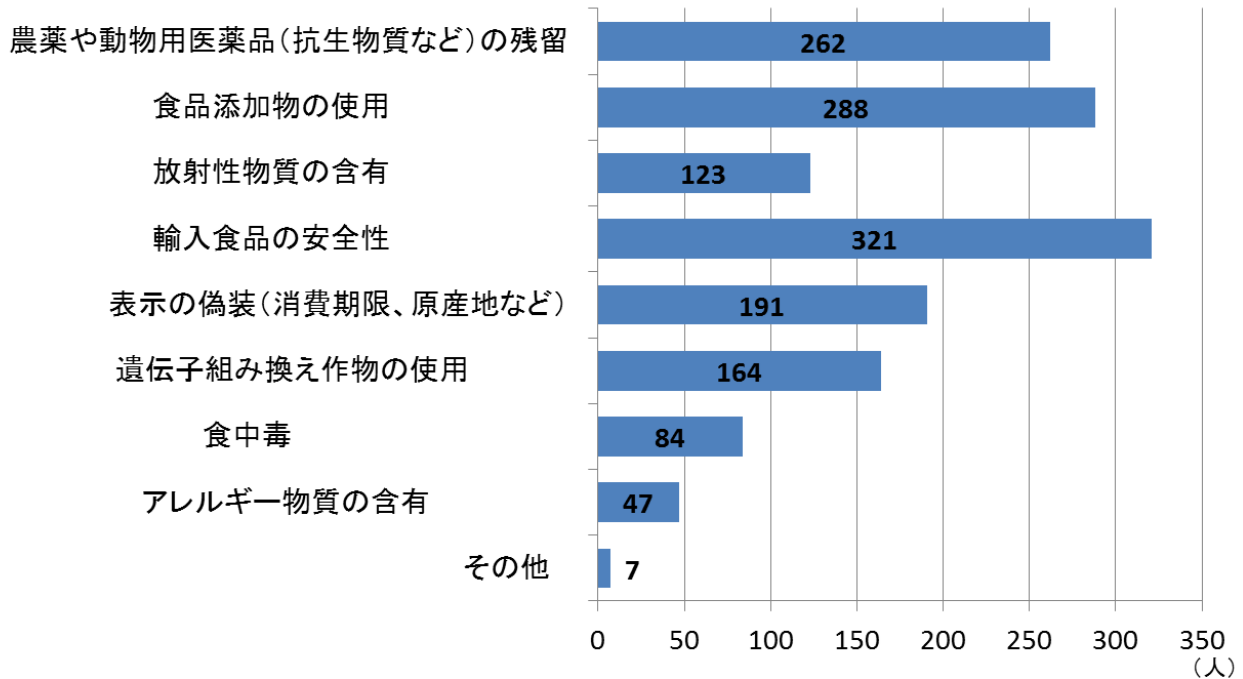


食品の安全性について聞いた結果、「不安を感じている」「どちらかといえば不安を感じている」と回答された方の合計が397人（51.7%）、「不安を感じていない」「どちらかといえば不安を感じていない」と回答された方の合計は362人（47.1%）でした。

H29年度のe-モニターアンケートの結果と比べると、「不安を感じている」「どちらかといえば不安を感じている」という方の割合は減り（H29年度は52.5%）、「不安を感じていない」「どちらかといえば不安を感じていない」という方の割合が増えました（H29年度は45.3%）。

Q8 不安を感じる理由について

Q7で「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」とお答えいただいた方にお聞きします。あなたは、食品の安全性について、どのような不安を感じていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

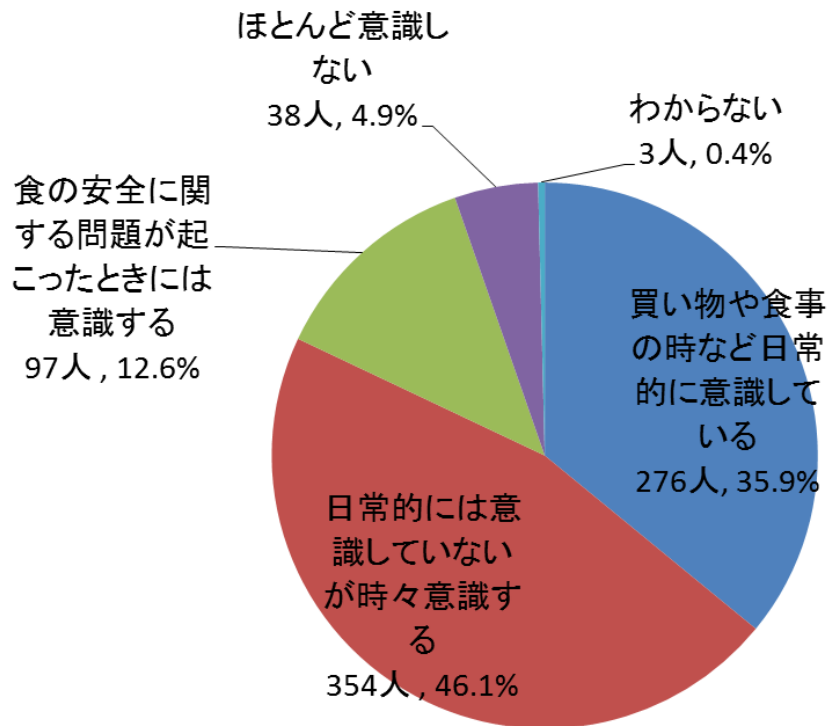


食品の安全性について、「どちらかといえば不安を感じている」「不安を感じている」と回答された方397人に、どのような不安かについて聞いた結果、一番多かったのが「輸入食品の安全性」と回答された方(321人、80.9%)、その次に「食品添加物の使用」と回答された方(288人、72.5%)、「農薬や動物性医薬品(抗生物質など)の残留」と回答された方(262人、66.0%)と続きました。

H29年度のe-モニターアンケートの結果と同様に、「輸入食品の安全性」(H29年度は81.0%)、「食品添加物の使用」(H29年度は75.7%)、「農薬や動物性医薬品(抗生物質など)の残留」(H29年度は66.6%)と回答された方が上位を占めました。

Q9 食の安全に関する意識について

あなたは、どのような時に食の安全について意識しますか。あてはまるものを1つ選んでください。

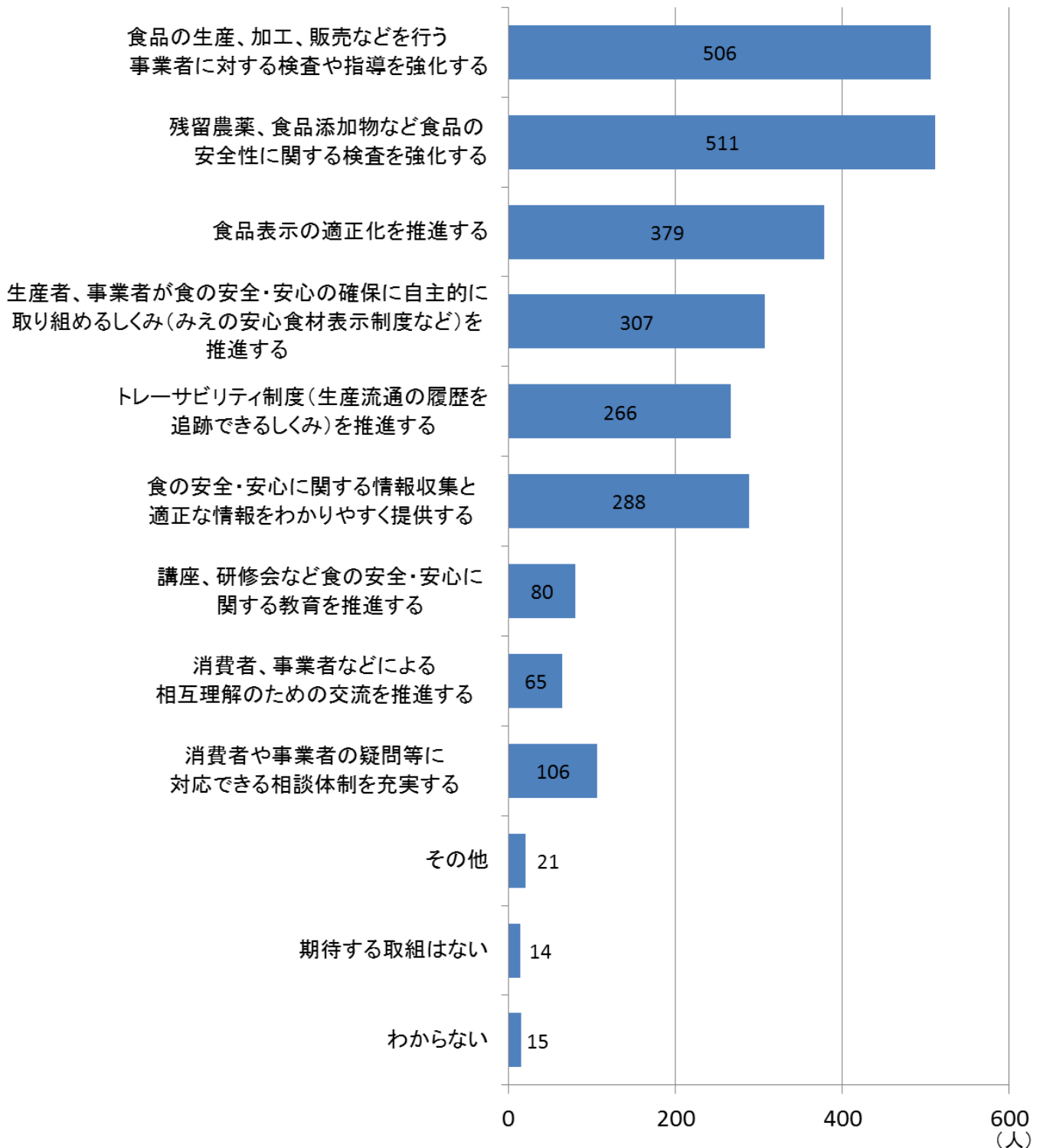


食の安全を意識するのはどのような時かについて聞いた結果、「買い物や食事の時など日常的に意識している」、「日常時には意識していないが時々意識する」と回答された方が合計で630人（82.0%）、「食の安全に関する問題が起こったときには意識する」、「ほとんど意識しない」と回答された方は合計で135人（17.6%）でした。

H29年度のe-モニターアンケートの結果と比べると、「買い物や食事の時など日常的に意識している」、「日常時には意識していないが時々意識する」という方の割合が増え（H29年度は合計で76.2%）、「食の安全に関する問題が起こったときには意識する」、「ほとんど意識しない」という方の割合は減りました（H29年度は合計で23.5%）。

Q10 食の安全・安心のために行政（国、県、市）に期待する取組について

あなたが食品の安全・安心を得るために、行政に期待する取組はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。



食の安全・安心のために行政に期待する取組について聞いた結果、一番多かったのが「残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する」で511人（66.5%）、次に「食品の生産、加工、販売などを行う事業者に対する検査や指導を強化する」が506人（65.9%）、さらに「食品表示の適正化を推進する」と回答された方が379人（49.3%）と続きました。

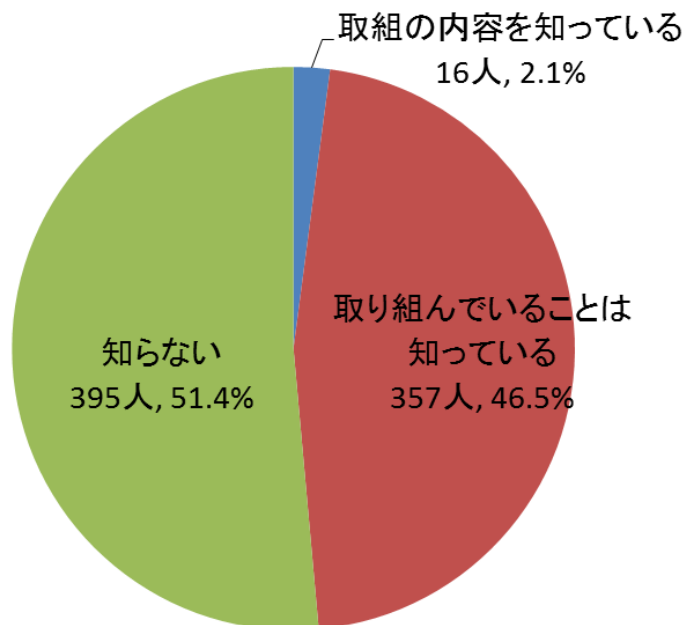
H29年度のe-モニターアンケートの結果と同様に、「食品の生産、加工、販売などを行う

事業者に対する検査や指導を強化する」(H29年度は70.2%)、「残留農薬、食品添加物など食品の安全性に関する検査を強化する」(H29年度は69.0%)、「食品表示の適正化を推進する」(H29年度は52.3%)と回答された方が上位を占めました。また、「その他」の回答としては、「学校教育で、家族ぐるみでの学習を推進する」、「輸入食品の検査の徹底」、「HACCP導入の推進」などがありました。

Q11 食の安全・安心確保のための行政（国、県、市）の取組について

あなたは、食の安全・安心確保のために、現在行政が取り組んでいる具体的な取組をどの程度ご存じですか。あてはまるものを1つ選んでください。

※具体的な取組内容は、Q10の選択肢を参考にしてください。

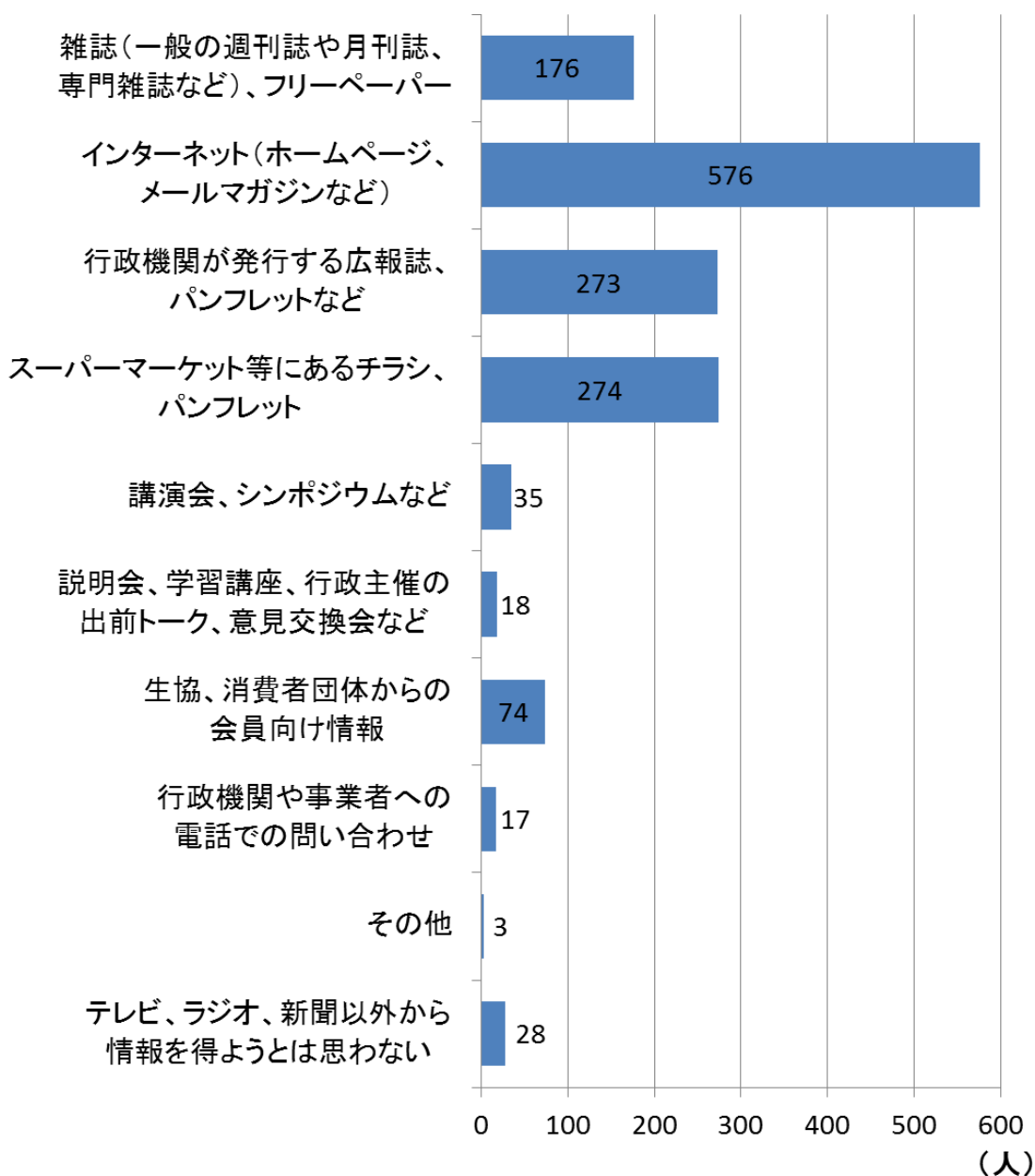


食の安全・安心確保のための行政の取組について聞いた結果、「取組の内容を知っている」「取り組んでいることは知っている」と回答された方が373人（48.6%）で、「知らない」と回答された方395人（51.4%）をやや下回りました。

H29年度のe-モニターアンケートの結果と比べると、「取組の内容を知っている」「取り組んでいることは知っている」人の割合が減り（H29年度は50.3%）、「知らない」人の割合が増えました（H29年度は49.7%）。

Q12 食の安全・安心に関する情報を得る手段について

あなたは、食の安全・安心に関する情報を知りたいと思った時、テレビ、ラジオ、新聞以外では、どのような方法で情報を得ようと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



テレビ、ラジオ、新聞以外での食の安全・安心に関する情報を知る方法について聞いた結果、一番多かったのが「インターネット(ホームページ、メールマガジンなど)」で576人(75.0%)、その次に「スーパーマーケット等にあるチラシ、パンフレット」で274人(35.7%)、さらに「行政機関が発行する広報誌、パンフレットなど」と回答された方が273人(35.5%)と続きました。

H29年度のe-モニターアンケートの結果と同様に、「インターネット(ホームページ、メールマガジンなど)」(H29年度は77.0%)、「スーパーマーケット等にあるチラシ、パンフレットなど」が(H29年度は35.9%)、「行政機関が発行する広報誌、パンフレットなど」が(H29年度は35.6%)と回答された方の割合が上位を占めました。また、「その他」の回答としては、「友人や知事に聞く」、「生産者から直接聞き取る」といった回答がありました。

Q13 食の安全・安心出張講座について

農産物安全・流通課では、食の安全・安心に興味のある県民の皆さんが概ね10人以上集まる勉強会・研修会等にご利用いただけるよう「『食の安全・安心』出張講座」※を実施しています。

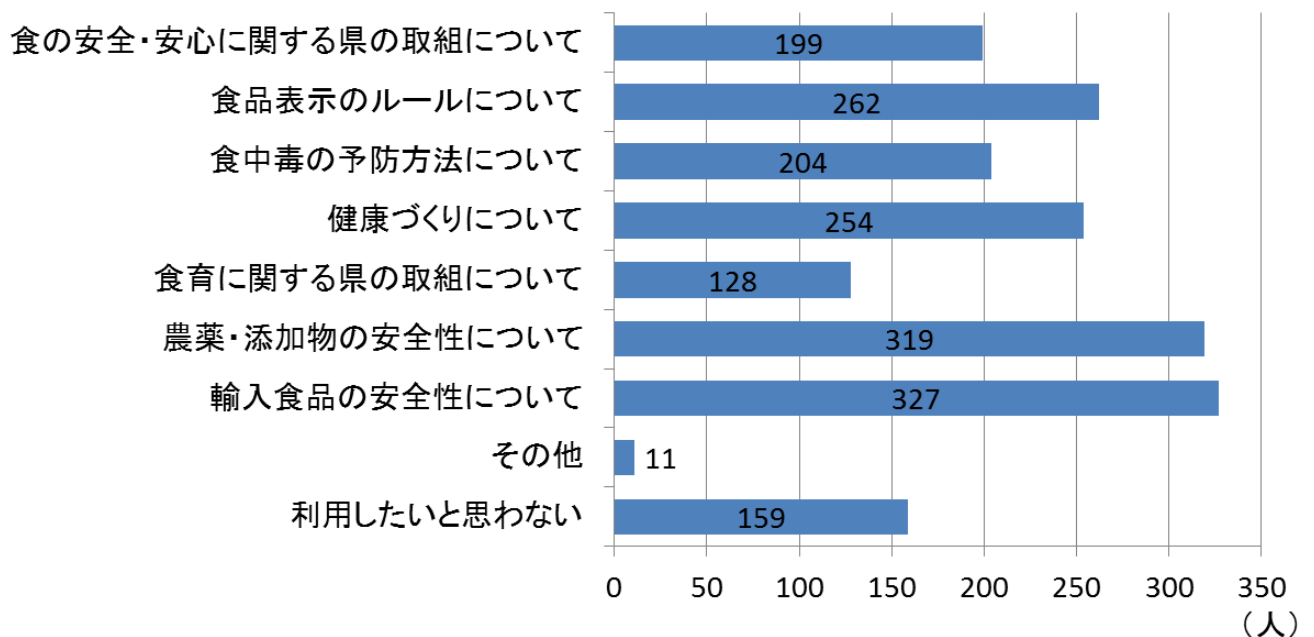
あなたは、「『食の安全・安心』出張講座」がどのような内容であれば利用したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※「『食の安全・安心』出張講座」

<http://www.pref.mie.lg.jp/NOAN/HP/m0110400017.htm>

また、概ね20人以上の参加規模を有する集会を対象とした「みえ出前トーク」でも、食の安全・安心に関するテーマを設けていますので、こちらも参考にしてください。

「みえ出前トーク」<http://www.pref.mie.lg.jp/KOHO/HP/26446022593.htm>



「食の安全・安心」出張講座の内容についてお聞きした結果、「輸入食品の安全性について」が327人(42.6%)、「農薬・添加物の安全性について」が319人(41.5%)、「食品表示のルールについて」が262人(34.1%)で上位を占めました。また、「その他」の回答としては、「食品中の放射性物質の検査について」、「農薬、添加物の種類や現状について」、「GAP やHACCP といった制度について」といった意見がありました。